

平成 23 年第 6 回庄原市議会定例会

一般質問通告者
及び
質問事項

12月7日～12月9日

質問順位

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 . 横 路 政 之 | 2 . 名 越 峯 壽 |
| 3 . 八 谷 文 策 | 4 . 中 原 巧 |
| 5 . 林 高 正 | 6 . 岡 村 信 吉 |
| 7 . 坂 本 義 明 | 8 . 宇江田 豊 彦 |
| 9 . 福 山 権 二 | 10 . 藤 山 明 春 |
| 11 . 谷 口 隆 明 | 12 . 平 山 俊 憲 |
| 13 . 小 谷 鶴 義 | |

庄 原 市 議 会

平成23年12月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	横路政之	防災対策について	1
		発達障がいの早期発見について	2
		学校・普通教室の空調機器整備について	2
2	名越峯壽	林業振興について	3
		畜産農家対策について	4
3	八谷文策	原子力発電所対策について	5
4	中原 巧	山のギャング(イノシシ)を精肉化し市の特産品として取り組む考えは	7
		農産物(米)の輸出に対する取り組みについて	8
5	林 高正	広島県新地域医療再生計画と、無医地区巡回診療車導入について	9
		小中学校連携について	9
6	岡村信吉	今後の財政運営と施策の展開について	10
		観光振興について	10
7	坂本義明	オープンガーデンについて	11
8	宇江田豊彦	庄原市定員適正化計画の今後について	12
		本市における保育行政の展望について	12
		若年層の保育士採用について	13
9	福山権二	平成24年度の予算編成方針について	14
		市行政に対する評価システムについて	15
		危機管理体制の整備について	16

順位	質問議員	質問項目	ページ
10	藤山明春	空き家を活用した定住対策について	17
		山間部の自宅居住希望若夫婦への住宅改修資金について	17
11	谷口隆明	財政運営について	18
		「地域主権改革」に係る自治体の基本的な姿勢について	19
		グリーンケミカル(株)の再生問題について	20
12	平山俊憲	市政について	21
13	小谷鶴義	大阪W選挙の結果について	22
		高速通信網整備報告について	22
		ペレット製造、販売について	22

一般質問

12月7日(水) 横路政之・名越峯壽・八谷文策・中原巧・林高正

12月8日(木) 岡村信吉・坂本義明・宇江田豊彦・福山権二

12月9日(金) 藤山明春・谷口隆明・平山俊憲・小谷鶴義

順位	1	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 防災対策について	<p>地域の防災対策に女性の視点が取り入れられる動きが広がっているが、具体的な体制等について次のとおり伺う。</p> <p>(1) 女性の視点での防災対策はどのようになっているのか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画を作成する際、女性の意見は反映されているか。 ・現在、防災会議の委員に女性が登用されているか。 ・防災担当部局と男女共同参画部局の連携は行われているか。 ・指定されている避難所に、女性の視点や子育てニーズは反映されているか。 <p>-----</p> <p>(2) 本市の災害用備蓄物資に女性や乳幼児、高齢者、障がい者等様々なニーズが踏まえられているか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 地域住民を対象とした地域の防災力を強化するために、現在どのような取り組みが行われているか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(4) 「避難所運営ゲーム（HUG・ハグ）」は、避難所運営の疑似体験ができるものである。地域の防災訓練などで取り組みを推進してはどうか、考えを伺う。</p> <p>-----</p> <p>(5) 小・中学校における防災教育・避難訓練の取り組みはどうか伺う。</p>		市長 教育長	

順位	1	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2.発達障がいの 早期発見につ いて	<p>発達障がいと疑われる乳幼児が増加傾向にある。発達障がいの兆候を見逃さないためにも、1歳6カ月児・3歳児健診に加えて、5歳児健診を実施してはどうか。また、小学校に入学した後の健診はどうなっているか。発達障がいを見逃さないためにも、健診の実施についての考えを伺う。</p>		市長
3.学校・普通教室の空調機器整備について	<p>近年の平均気温の上昇等により、普通教室の室温が体温を超える場合もあり、普通教室の冷房化の動きがある。本市における普通教室の冷房化の状況はどうなっているか。</p> <p>全国の自治体の中には、民間の技術的能力等を最大限に活用するPFI手法を取り入れて、空調機器を早期かつ同時期に整備し、事業経費の削減及び財政負担の平準化を図っているところがある。このような手法も有効な手段だと考えるが、今後の冷房化に向けての考えを伺う。</p>		教育長

順位	2	質問者	名越 峯壽	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 林業振興について	<p>広大な森林の多面的機能を十分に発揮させるために、森林の適切な管理と活用に貢献することを目的として、次の世代の子孫たちへつなげる森林づくりを基本理念に定め、その中に、将来のあるべき姿、今何をすべきか、どう行動に移すべきかを示す必要があると考える。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の「森林づくり基本計画」を策定し、自然の恵みである森林資源を次の世代につなげることはできないか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 植林について</p> <p>平成24年度から国、県は、再造林は補助対象とするが、山林の56%を占める61,157haの広葉樹林の拡大造林は対象にしない方針である。市の対応について所見を伺う。</p> <hr/> <p>(3) 他の市町では、林地残材(C材)の活用に対して補助制度を設け、よりやる気を出していただく取り組みを進めている。本市でも取り入れてはどうか、見解を伺う。</p> <hr/> <p>(4) 「ひろしまの森づくり県民税」の活用について</p> <p>平成19年度より始まったこの事業も、本年度で5年目を迎える。事業の総括を伺う。</p>		市長	

順位	2	質問者	名越 峯壽	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 林業振興について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果と評価及び課題について、どのようにとらえているか。 ・ 以前の質問で、納税者から見たとき、この事業を活用してどこを整備したのかわからないので、看板などによる対応策を提案したところであるが、どのように実施されたか。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> (5) 庄原中学校の改築では地域材を活用しているが、次の点について伺う。 ・ 庄原産材を使用すると、1 m³当たりの製品単価は幾らになるのか。 ・ 国産材使用と地元産材使用での差額は幾らになるのか。 		市長 教育長	
2. 畜産農家対策について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 23 年の広島県畜産共進会をどのように評価されたか伺う。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> (2) これからの和牛経営、増頭に対して、どのように考えているか伺う。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> (3) このたび和牛改良組合から出された要望に対してどのように検討をされるか伺う。 		市長	

順位	3	質問者	八谷 文策
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 原子力発電所 対策について	<p>東京電力福島第一原子力発電所事故に学び放射線・放射性物質対策等に関して市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 中国地方における原子力発電所の全ての設置箇所を明らかにされたい。また、本市までのキロ数は幾らか。このたびのような地震災害の事故による本市への被害の可能性をどのようにシミュレーションしているか。その時の市民に対する対応を考えて危機管理の統一的対策の取りまとめを進めているのか。</p> <hr/> <p>(2) もし(1)の質問で明らかになった原子力発電所に事故が起きたときの対策について、次の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上・下水道処理施設における放射能対策について ・学校教育現場における放射能対策について ・観光業における風評被害対策について ・水稻を含め農業生産物に対する放射能対策について ・畜産業に対する放射能対策について ・その他市民生活全般に対する放射能対策について 		市長

順位	3	質問者	八谷 文策	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1 . 原子力発電所 対策について	<p>(3) 現存する原子力発電施設に対し、本市としてはどのように対応していくのか。中国電力上関原子力発電所の新設に対しても正しい意見を市民の声として発していくべき時に来ている。原発の安全神話は完全に吹き飛んだ今、100年後も200年後も安心して住める庄原市をつくるためにできることを、今こそ市長を中心にまとめていくべきである。更には原発がないと電気が不足すると言われるが、生活様式の変化でそうなるのか、日本には日本の風土に合った生活様式がある。本市から住み良い生活様式を発信することに対しての考えを伺う。</p>		市長	

順位	4	質問者	中原 巧	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1.山のギャング (イノシシ)を精 肉化し市の特 産品として取 り組む考えは	<p>本市におけるイノシシの被害は、年々増加の一途をたどり、TPP（環太平洋戦略経済連携協定）交渉の結果次第では、後継者の問題等も起因して離農を考慮しておられる方も結構あると聞いている。繁殖能力の高いイノシシの個体は一向に減少しないといわれ、本市の平成22年度実績は駆除のみで1,198頭である。これだけの頭数を捕獲しているにもかかわらず、これを商品化しようとする取り組みを全く感じるができないが、平成24年度以降どのような取り組みを展開されようとしているのか所見を伺う。</p> <p>(1) 本年の3月定例会で商品化に対する質問がされ、市長は今後において調査研究を行うとの答弁であったが、具体的にどのように調査研究がなされ、どのような方向性を見出したのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 猪肉は、料理次第では特産品として大化けする可能性もある。本市の特産品としての開発とあわせ、捕獲者の所得の向上を図るためにも、まず産直八木店での販売や市内の各学校給食、老人ホーム、かんぼの宿やホテル、温泉等へ提供できる施設整備や仕組みを構築されるべきと考えるがどうか、考えを伺う。</p>			市長

順位	4	質問者	中原 巧	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 農産物(米)の輸出に対する取り組みについて	<p>本年の6月定例会で、中華人民共和国四川省綿陽市との交流事業の中で、教育や文化の交流だけにとどまらず、本市の基幹産業である農業分野での交流に力点を置き、本市の最大の課題である農業後継者の確保や地域活力の向上、農地の荒廃防止等定住人口の増加につながる方策を見出すべきであると質問した。市長の答弁では、今後、国や県の動向を注視し、あらゆる交流事業の可能性を探り、綿陽市と協議、検討するとの答弁であった。</p> <p>(1) 綿陽市を含め、アジア諸国への農産物(米)の輸出についてどのように協議検討されたのか伺う。</p> <p>(2) J A全農ひろしまでは既に7月に台湾へ米を輸出し、全国各地のJ Aが同国へ向け米を輸出している。また、福山市の沼隈ぶどうをタイへ輸出することが報じられたが、本市ではJ Aと連携してこのような取り組みを実施する考えはないのか伺う。</p> <p>(3) 政府は、T P Pの協議に近い将来入らざるを得ない状況とみるが、本市は将来に向けて基幹産業である農業のありようをどのように展開していこうとしているのか伺う。</p>		市長	

順位	5	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 広島県新地域医療再生計画と、無医地区巡回診療車導入について	<p>(1) 新地域医療再生計画による県北部の医療施設の位置づけはどうか。特に西城市民病院と庄原赤十字病院の経営形態の違いを将来的にどのように調整しようと考えているのか伺う。</p> <p>(2) 新聞報道によると、「三次市立三次中央病院と庄原赤十字病院、神石高原町立病院のうち、いずれかが診療車を購入し、購入費を県が補助する。購入する病院や運用ルールなどについては県と3病院、3市町が今後詰める」となっているが、どのようなものなのか伺う。</p>		市長
2. 小中学校連携について	<p>過去何度も質問しているが、比和小・中学校のその後はどうなっているのか。また、今後の庄原市教育委員会としての取り組みについてはどう考えているのか伺う。</p>		教育長

順位	6	質問者	岡村 信吉	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 今後の財政運営と施策の展開について	<p>合併以来、財政健全化は本市の懸案事項であるが、平成28年度末の実質公債費比率18%の目標に至るまでの状況は、内外の情勢の中で誠に厳しいものがあるのではないかと考え、以下具体的質問に入る。</p> <p>(1) 本市の普通交付税は、現在、合併算定替の特例適用により増額交付されている。この期限も平成26年度までで、以後平成31年度まで交付税は段階的に減少、平成32年度より通常交付と聞いている。こうした歳入減を見直す中での中長期的な財政運営についてどう対応する考えか伺う。</p> <p>(2) 国内外の経済動向の不安定さが連日報道される情勢下、交付税依存率の高い本市にあって、中長期的に若干の余裕を持った財政運営が求められるのではないかと思うが、考えを伺う。</p>		市長	
2. 観光振興について	<p>(1) 本市の観光振興の専門組織と位置づけられている観光公社(設立準備室)と各観光協会との機能的連携はどうなるのか伺う。</p> <p>(2) 来年度、尾道松江線が開通し、高野に道の駅が稼動する。観光振興に関し、この道の駅の果たす役割について、考えを伺う。</p>		市長	

順位	7	質問者	坂本 義明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. オープンガーデンについて	<p>(1) オープンガーデンにおける成果と本市への入り込み数を伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) オープンガーデン実施での反省と今後の課題について伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 次年度におけるオープンガーデンの計画と方向性について伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	宇江田豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市定員適正化計画の今後について	<p>庄原市定員適正化計画は、平成 17 (2005) 年 4 月 1 日を基準日として、平成 22 (2010) 年 4 月 1 日における目標職員数を設定し、計画的に職員削減を推進してきた。その結果、平成 22 (2010) 年 4 月 1 日の目標 598 人以内を大きく上回り、現時点においては 574 人と大幅に削減が進んでいる。</p> <p>「定員適正化計画」5 年が経過し、6 年目の本年ももう少しという時期を迎え、本計画の成果と課題について、どのように総括をされているのか伺う。また、今後の取り組みについてどのような考えか伺う。</p>		市長
2. 本市における保育行政の展望について	<p>保育所統合・民営化・改築等計画が平成 22 (2010) 年より実施をされ、指定管理者制度導入も順次取り組まれている。平成 25 (2013) 年からは本市最大規模の庄原保育所についても指定管理者制度導入をめざしているが、懸念すべき点も多くあり、市長の見解について以下、伺う。</p> <p>(1) 庄原保育所は本市の拠点保育所であり、緊急時に自由に動ける保育士を確保する機能を有するべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(2) 将来にわたり保育行政を担う職員育成の保育所として公設公営を守るべきと思うが、考えを伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	宇江田豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2.本市における 保育行政の展 望について	<p>(3) 庄原保育所を公設公営で守ることによって、一定量の職員採用を行うことになり、本市において保育士をめざす若者が確保され、公設民営の保育所においても地元の若年層保育士を確保することにつながるようになると思うが、考えを伺う。</p> <p>(4) 全国的にみても公設公営の保育所における保育士不足は深刻であり、若年層保育士の市外流出が進むと思うが、考えを伺う。</p>		市長
3.若年層の保育 士採用につい て	<p>本年度、予算審査特別委員会では一般会計予算に対する附帯決議を議決し、市長も課題として受けとめられていると思う。</p> <p>しかし、本年実施された採用試験においても、保育士の募集はされていない。</p> <p>附帯決議の中では「多くの臨時任用の保育士だけに頼るのではなく、今後若年層の保育士の採用を進め、充実した保育所を確立すべく積極的に検討されたい」と指摘している。</p> <p>今後においても、2分の1程度の公設公営の保育所を運営する「計画」が明らかにされているが、どのような考えか伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 平成 24 年度の 予算編成方 針について	<p>平成 24 年度の予算編成はどのような方針で企画されるのか、その内容について以下の点を伺う。</p> <p>(1) 合併後 7 年が経過し、地方交付税の特例措置の期限切れが迫っているが、地方交付税の交付額に本市の財政運営は強く影響されており、この期限切れに対応した財政計画をどのように検討しているか伺う。</p> <p>(2) 継続可能な財政運営のためには、歳出削減が必要とされるが、市長は歳出を削減することができる分野とその規模についてどのように検討しているのか伺う。</p> <p>(3) 市長は、まちづくり条例案を提案し、市政に対する市民参加を市民の権利と位置づけ、市民意見を積極的に市政企画に取り入れることとしているが、財政計画の段階で市民参画はどのように進めるのか伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 市行政に対する評価システムについて	<p>市長は、庄原市行政経営改革大綱（平成 18 年策定）に沿って、行政改革を企画、実行してきたが、この大綱で明示した「行政評価システム」は現在どのように整備され、稼動し、その行動総体はどのように市民に広報されているのか、以下の点について伺う。</p> <p>（１）行政経営改革大綱では、「市民の声も踏まえた評価結果を計画立案や予算編成、組織・人事に反映させるシステムを構築する」としてきたが、具体的にはどのように構築し、稼動させ、事務事業に反映してきたのか伺う。</p> <hr/> <p>（２）行政経営改革大綱による 5 年間の計画実施期間が終了した。今後の経営改革はどのように進めるのか伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 危機管理体制 の整備について	<p>昨年7月に市内で発生した集中豪雨による被災の経験から、市政の危機管理責任が問われているが、次の点を伺う。</p> <p>(1) 昨年7月に発生した災害に係る避難体制について、どのように総括されているか。</p> <p>(2) 気象災害、人や家畜の伝染病、地震災害など、課題別の危機管理体制はどのように整備されているのか。また、緊急事態発生時を想定した各種訓練はどのように実施されているか伺う。</p> <p>(3) 地震被災等による中国電力島根原子力発電所からの放射性物質汚染を想定した避難体制、訓練などが島根県では具体的に検討されているが、関連する本市の危機管理対策はどのように検討されているか伺う。</p> <p>(4) 中国電力島根原子力発電所の事故発生時に放射性物質汚染から避難する島根県民の受け入れ体制が島根・鳥取両県で協議されているが、隣県隣市としてどのように対応されるのか伺う。</p> <p>(5) 東京電力福島第一原子力発電所の水素爆発による放射性物質の拡散は全国的な規模となっており、中国地方の自治体でも放射線測定器による測定が始まっている。本市の対応を伺う。</p>		市長

順位	10	質問者	藤山 明春
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 空き家を活用した定住対策について	<p>本市は人口減少と高齢化が進み、今年9月末現在の人口は39,987人、65歳以上の人口に占める割合は37.5%との報告があった。高齢化が進むと同時に、人が住まなくなった空き家が徐々に増え、明かりが灯らなくなり淋しい限りである。</p> <p>空き家の活用を進めるためには、空き家情報の収集、入居者の募集、契約の締結等さまざまな取り組みが必要である。空き家を活用した定住について伺う。</p> <p>(1) そのまま定住が可能、または軽度の修繕で住める空き家が市街地を除いた地域で何戸あると把握しているか伺う。</p> <p>(2) 空き家の活用について、これまでの市の施策と成果について伺う。</p> <p>(3) 今後どのような方法で空き家を活用され、定住に結びつけようとするのか伺う。</p>		市長
2. 山間部の自宅居住希望若夫婦への住宅改修資金について	<p>本年の6月定例会の一般質問で、「山間部の自宅居住希望若夫婦への住宅改修資金充実を」と問い、今後検討するとの答弁であった。どのような形で実践されるのか伺う。</p>		市長

順位	11	質問者	谷口 隆明	答弁を 求める者	市長
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 財政運営について	<p>(1) 平成24年度予算編成要領で「各課別一般財源配分方式による予算要求を基本とする」とされているが、その目的と意義、配分の基準について伺う。それによる住民サービスの低下の恐れはないのか。</p> <p>(2) 歳入の見通しや性質別歳出など最低今後10年間の財政計画を示して、長期的視野で予算を編成すべきではないか。普通交付税は、平成22年度決算において合併当初より22億円増えているが、これは合併算定替えというより政府の政策的要素が強いと考える。今後の普通交付税の動向をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 持続可能な財政運営プラン(平成18年策定)や財政計画の目標に反して、人件費と普通建設事業費以外は増加傾向にある。本年の9月定例会では、物件費(委託料)などが増えても財政を圧迫するようなことはないかと答弁されたが、今後の見通しを伺う。</p>			市長	

順位	11	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 「地域主権改革」に係る自治体の基本的な姿勢について	<p>(1) 今回の「地域主権改革」では、国民の暮らしと権利を守る国のナショナルミニマムの保障と責任を後退させ、福祉などにおける地域間格差の拡大を当然視している。憲法に基づいて住民の暮らしを守る地方自治体のあり方に反すると考えるが、市長の見解を伺う。</p> <hr/> <p>(2) いわゆる「地域主権一括法」に基づく保育や福祉施設、公営住宅、介護、医療などの基準の条例化や基準づくりに当たっては、これまで国が憲法第25条に基づいて定めてきた最低基準を維持すべきと考える。現時点でもこれまでの答弁と変わらないと思うが、基本的な考えを問う。</p>		市長	

順位	11	質問者	谷口 隆明		
項目		質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
3. グリーンケミカル(株)の再生問題について		<p>(1) 会計検査院の検査経過と結果はどうなったのか。</p> <p>(2) 本年の9月定例会では、「金融機関も12月6日までは待てません。」と言っているとの答弁であった。もう結論は出ていると思うが、改めて説明されたい。</p> <p>(3) この事業で本市に豊富に存在する木質バイオマスの利用促進という事業目的が達成されるとは思えない。国からの交付金の返還の有無にかかわらず、客観的には事業は明らかに失敗であり、当事者でかつ計画主体である本市の責任は大きいと思う。市長の見解を伺う。</p>		市長	

順位	1 2	質問者	平山 俊憲
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1 . 市 政 に つ い て	(1) 組 織 機 構 の 現 状 と 課 題 に つ い て 伺 う。 (2) 権 限 移 譲 の 状 況 と 効 果 に つ い て 伺 う。		市 長

順位	13	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 大阪 W 選挙 の結果について	<p>(1) 地方から国を変えるとの結果が出たと思うが、地方自治を預かる首長としての所見を伺う。</p> <p>(2) 大阪市教育委員会も争点の一つであり、この問題が全国に波及するのではないかと思うが、教育長の見解を伺う。</p>		市長 教育長
2. 高速通信網整備 報告について	<p>先日発表された報告はそのまま実施を考えているのか、地域では周辺部の切り捨てと言われているがどうか。ケーブルテレビは合併の条件であったと思うが、廃止にすることを勝手に市民に報告、説明なくして決定してもよいのか。ケーブルテレビの場合、三次市にお願いし広域的に考えることの検討はしたのか。三次市の説明では30億円位と聞くが検討されたのか伺う。</p>		市長
3. ペレット製造、 販売について	<p>製造に係る経費に対して販売価格が低い状態では、経営は成り立たないと思う。赤字を市の財政で補填しながら継続することは、本市において今後負担になると思うが、見通しを伺う。</p>		市長